

## 社会学共創拠点：社会学共創アゴラ・イノベーション構想



### 1. 中之島キャンパス社会学共創拠点化

#### ◎アゴラ・イノベーションセンター設置(仮称)

21世紀懐徳堂を核として総合学術博物館、適塾記念センター、アーカイブズ、データリテリacy機構、付属図書館などによる学内組織化と自治体・企業との社会学共創事業展開

#### ◎適塾、懐徳堂を精神的源流とする歴史啓発、大学ヘリテージ機能の充実

大阪大学の源流や大学史のミュージアム展示公開活動

#### ◎ビッグ・データの市民向け検索・閲覧機能強化

データリテリacy機構との連携推進、オープン・ライブラリー、オープン・アーカイブズの運営



### 2. 人材育成機能・社会学共創人材ネットワーク構築

#### ◎社会人大学院を視野に入れた研究科構想

老若男女が集う真のアゴラの実現、学び直しの場の提供

#### ◎地域社会・諸機関との社会学共創の実現

中之島地区のみならず地域社会やその諸機関とのネットワーク構築と社会学共創活動の推進

#### ◎同窓生・卒業生らとの連携強化

中之島地区を拠点にした卒業生・同窓生との連携を強化し社会学共創を実現していく

### 3. 社会学連携のグローバル化

#### ◎グローバル地域連携の推進

自治体・企業と連携したグローバルな地域活性化の推進

#### ◎社会貢献事業の国際発信

適塾記念センターオランダ学部門を活用した本学の歴史・社会貢献事業の国際発信

#### ◎多言語化に対応した共創

医療通訳、インバウンド対応、各種情報の多言語化に対応した共創事業



## アート拠点：アーツ・リンクス案

劇場・音楽堂・美術館等と連携する社会共創型芸術文化研究教育プログラム

### 【運営体制】

拠点長  
副拠点長  
教員8名  
事務スタッフ2名  
ホール技術者2名 程度  
(その他学生5~60名程度が日常的に学び活動する。)



### 1. 社会共創型アート・リサーチと共創事業推進

- ◎ **大阪市立新美術館との研究教育連携・・・施設①、⑤**  
大阪市立新美術館との共同研究、インターン、展覧会・パフォーマンス企画参画など
- ◎ **中之島地区&周辺芸術諸機関との研究教育連携ハブ構築・・・施設⑤**  
国立国際美術館、ザ・フェニックス・ホール、ABCホール、東洋陶磁博物館等と連携する実践的共同研究推進
- ◎ **大ホール、ブラックボックス、ホワイトキューブなどの運営・・・施設①、②、④**  
中之島地区に建設予定の芸術系ホール群（大ホール、ブラックボックス、ホワイトキューブなど）の運営を行うことで、社会共創事業を推進する。



### 【施設イメージ】

(約4000㎡〔共用部除く。〕)

- ① 各種ホール(約2,000㎡)
- ② 楽屋、稽古場、工房(約600㎡)
- ③ ライブラリー・アーカイブ(約600㎡)
- ④ 宿舎(約400㎡)
- ⑤ 研究室など(約400㎡)

### 2. グローバル・ネットワーク構築とグローバル人材育成

- ◎ **アーティスト・イン・レジデンス・・・施設②、④**  
海外のアーティストの中之島地区でのレジデンスとアート作品制作と展示公開事業の推進
- ◎ **グローバル・インターンシップ展開・・・施設②、⑤**  
海外の芸術系諸機関でのインターンシップの推進と国内芸術系諸機関への海外からのインターン受け入れ。
- ◎ **グローバル・ネットワーク構築・・・施設②、⑤**  
ヨーロッパ・アジアの芸術系機関・大学等との共同研究、共同作品企画制作などを通じたグローバルネットワーク構築

### 3. アート関連教育と芸術・情報発信事業

- ◎ **学生・社会人アート・ファシリテーター育成・・・中之島センター 等**  
芸術系諸機関在職者や芸術系諸機関への就職を希望する学生・社会人教育の展開  
東洋陶磁博物館等と連携する実践的共同研究推進
- ◎ **大ホール、ブラックボックス、ホワイトキューブなどの運営・・・施設①**  
中之島地区に建設予定の芸術系ホール群（大ホール、ブラックボックス、ホワイトキューブなど）の運営を行うことで、芸術発信・社会共創事業を推進する。
- ◎ **オープン・アーカイブズ&ライブラリー・・・施設③**  
芸術系アーカイブズや芸術系図書の市民解放によるオープン・エデュケーションの実施

## アート拠点(施設イメージ)



### 【ブラックボックス】

演劇用スペース、側面等を黒く塗装した空間

(写真: 香港レパトリー・シアター)

※転載禁止



### 【ホワイトキューブ】

美術品等の展示用スペース、白い箱型の空間

(写真: 英国 パーモンドジー・アート・スペース)

※転載禁止

## アーティスト・イン・レジデンス(AIR)

- 国内外の芸術家を一定期間ある土地に招聘し、その土地に滞在しながら創作活動を行なってもらうための制度や事業を言う。
- 日本では1990年代に自治体などの取組みにより全国的に広がった。
- 滞在中の芸術家が地域の人々との交流や制作過程の公開、地域文化や風土を作品に活かすケースもある。

### 【大阪大学における取組例】

#### (1) ジョアン・ガルシア(2014年度)・・・スペインの写真家・映像作家

滞在期間: 2014年10月7日～11月18日

宿泊場所: 大阪大学待兼山会館

主な活動: ワークショップ、展覧会

展覧会開催場所: 豊中市旧上新田小学校



#### (2) クリッシー・ティラー(2014年度)・・・ロンドン大学ゴールドスミス校教授(俳優・演出家)

滞在期間: 2014年11月12日～11月18日

宿泊場所: 大阪大学待兼山会館

主な活動: 基礎セミナー、ワークショップ、イベント



#### (3) ジュピター・プラダン(2015年度)・・・ネパールのアーティスト

滞在期間: 2015年12月17日～2016年1月26日

宿泊場所: グランシャトー北加賀屋、本町ハウス303

主な活動: ワークショップ、イベント、展覧会

展覧会開催場所: 大阪市立新美術館建設予定地など



## 産学共創クロスイノベーション拠点

### 【運営体制】

拠点長  
研究スタッフ(1ユニットあたり大学  
5名、企業5名)  
産学連携支援員20名  
産学連携研究プロデューサー10名  
テクニシャン10名  
※10ユニット程度でのスタート



### 1. オープンイノベーションの加速

- ◎ **リサーチクラウド・アライアンス (RCA) …施設①、⑥**  
誰にでも、何処にでも繋がる阪大研究所群の資源・サービスのワンストップ拠点。国内外ネットワークのハブ。
- ◎ **産学連携クロスイノベーションセンター…施設②、⑤、⑥**  
分野や組織を横断する共同研究講座・協働研究所の設置。大学のための産学連携から社会のためのパートナーシップへ。
- ◎ **知財運用センター…①など**  
戦略的知財の運用による事業化利益の確保。共同研究・ベンチャー起業等の事業化支援。オープン・クローズド戦略への対応。知財のプール化・パッケージ化によるオープンイノベーションへの貢献。
- ◎ **産学共創サポートオフィス…施設⑤、⑥**  
科学技術シーズと企業のニーズのマッチングイベントを定期的を開催。大学と企業が事業や価値を共創する場に。



### 【施設イメージ】

- (約10,000㎡[共用部除く。])
- ① 基盤研究施設(約4,000㎡)
  - ② 共同研究室(約4,000㎡)
  - ③ 技術室(約250㎡)
  - ④ サーバー室(約100㎡)
  - ⑤ 展示スペース(約250㎡)
  - ⑥ 交流スペース(約250㎡)など

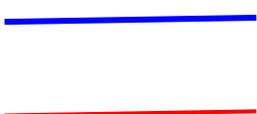
### 2. 人材の育成

- ◎ **産学共創によるイノベーション人材の育成…施設①、②、⑥**  
共同研究ユニットにおけるOJTで、主体的に行動する力、多様な人や組織との連携を可能にする組織力、起業家マインド等を持つスーパー人材を育成。
- ◎ **社会人教育・ビジネススクール…施設⑥**  
「先端技術」から「マネジメント」まで医療を含む幅広い分野の社会人向け教育・研修プログラムを提供。オンライン講座の発信。
- ◎ **高度医療人材育成プログラムの拡充…中之島センター 等**  
ファーマトレイン、バイオデザイン、メディカルデバイス・デザイン等。

### 3. 導入する機能

- ◎ **共同研究ユニット…施設①、②、③、④、⑥**  
RCAの強みである「光」「物質」「インダストリー」「ソサエティ」と医学系研究科の「医療」を関連(クロス)させたテーマを企業と共に設定。10ユニット程度でスタート。
- ◎ **医療情報科学センター…施設②、③、④、⑥**  
バイオインフォマティクス、ビッグデータ、AI、ロボティクス等の研究拠点機能。
- ◎ **アウトリーチセンター…施設⑤、⑥**  
学術研究から生まれるイノベーションの社会還元。成果のデモンストレーション。メディアへのブリーフィング、サイエンスカフェ、研究者座談会の開催。

# 世界に繋がる大阪大学



大阪大学の海外拠点  
リサーチクラウドアライアンスの主な  
研究・教育ネットワーク(海外のみ)



ASEAN諸国への強いコネクション